

株式会社 ヒノキヤグループ

2021年1月4日

報道関係各位

本日、当社代表取締役社長 近藤昭よりヒノキヤグループ内約 3000 人に向け、グループ報を通じて発信した「2021 年年頭挨拶」(要旨)を下記の通りお知らせします。

記

新年あけましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で、弊社も一時この先どうなるのかと不安になりましたが、グループ全体としては比較的順調に事業を続けられたということは、現場含め皆さんが厳しい状況下でも強い想いで最大限の力を発揮してくれたことはもちろんですが、これまで培ってきたブランド力や技術力も含め我々の底力を確信することもできました。

昨年は仕事の在り方といったことも劇的に変化しました。社会情勢に対応したデジタル化は一過性のことではなく、業務効率や生産性を上げるためにこれからも推進していきたいと思えます。デジタル化に限らず業務改善を積極的に推進することで、仕事環境をより良くし、家という高い買い物をしてくださるお客様へのサービス・満足も向上していくことが必要です。簡単なことではないですが、皆さんも常に意識して実行してください。

ヤマダホールディングスにグループ入りして2か月になりますが、ヒノキヤグループへの期待と同時に住宅事業を引っ張っていかなくてはならないという責任も感じています。今の業績に甘んじることなくより良い結果を出していくことで、住宅事業全体への良い影響をだせるのではないかと考えています。これまでM&A等で事業の幅を広げていましたが、今後は本業により注力し伸ばしていこうと思えます。

今年は昨年よりも良い年になるだろうと誰しもが思っているでしょうし、願っています。

健康第一で、仕事は常に進化させて、会社の成長につなげるよう今年も1年よろしく願います。

以上

代表取締役社長
近藤昭